諏訪小学校だより No.18　　R6.2.15

学校教育目標　≪本物の【あかぎの心】を育てよう≫

モッテコイ 諏訪小魂！

長崎市立諏訪小学校 校長 山﨑 直人

「青少年意見発表会」での快挙

1月28日（日）メルカつきまちの市民生活プラザホールで、中央公民館区青少年育成協議会連絡会による「第23回青少年意見発表会」が開催されました。諏訪小代表は、6年生の〇〇〇さんです。

「ヨイヤー！ 長崎」という題目で「くんち愛」全開で夢のあるイベントの提案をしました。法被を着て、鉢巻きを締めての発表は最初から聴衆を魅了していました。

最後には諏訪小魂を込めて「ヨイヤー」「モッテコーイ長崎」が会場に響き渡りました。

鈴也さんの発表に、「ヨイヤー！」。

諏訪小子どもサミット

各委員会の委員長を校長室に集め「諏訪小学校をもっと良い学校にしよう」というテーマで「諏訪小子どもサミット」を開きました。11月に続いて今回は2回目です。さすが代表だけあって、委員会からの報告はもちろん、自分の言葉で自分の思いを語ることができています。年度末へ向けての6年生としてのストレートな熱い思いも聞けました。一つでも二つでも実現して卒業させたいですね。育成会会長も同席していただき、具体的な実現へ向けて動き出します。

磨屋小・新興善小 150 年目の思い出集会

2月7日（水）、この諏訪小の場所に建っていた磨屋小学校と、同時に一部が統合された新興善小学校の2校をしのぶ集会を開きました。学校が残されていたら150 年という大きな節目を迎える年だったからです。

来賓の方々、地域の皆さま、そして6年生の保護者にも声をかけさせていただきました。多数お集まりいただきありがとうございます。

6年生の児童による「磨屋小」「新興善小」の歴史紹介のあと、それぞれの卒業生からのお話をいただきました。磨屋小出身の唐島さん、新興善小出身の中川さんです。当時は児童数も1000人を超す大規模校で運動会が運動場ではできなかったこと、諏訪小創立の際、アカギの木が切られそうになったことなど、歴史の証人のお話に聞き入りました。

そのあと磨屋小・新興善小の両校の校歌を5・6年生が歌いました。音楽の時間を使って練習を続けてきました。同窓会などで今でも歌い継がれているのでしょうが、「子供の声で校歌を聴く」というのは閉校以来だったと思います。卒業生の方々それぞれに一緒に口ずさんでくださいました。

そして最後は我らが諏訪小学校の校歌合唱です。この日、作曲者の加藤豊先生もお招きしていたので、一言いただいた後、指揮をお願いしました。加藤先生の指揮に合わせて歌う校歌は、いつもに増して元気に華やかに響きました。